

## サーバ技術仕様・制限等

- ① テキスト、イラスト、画像等の配置を検討し、HTML、CSS、スクリプトのコーディングを行う。  
なお、HTML のコーディングにあたっては特定ブラウザに依存するタグを使用してはならない。  
また、セキュリティホールとなる恐れのあるコーディングを行ってはならない。ぜい弱性に対する対策を確実に行うこと。
- ② 対応する OS 及びブラウザは、現時点でメーカーがサポートしているバージョンとする。  
なお、ディスプレイ表示に関しては 1024×768 ドット表示への対応を基本とする。
- ③ サーバの利用制限  
ウェブサイトは、札幌市が指定するサーバ等に構築するため、下記のとおり制限があることに留意すること。

ア サーバ環境は、以下のとおりとする。ただし、ソフトウェアのバージョン等は変更となる場合があるため、設計の段階で最新の情報を確認すること。

	cgi/php サーバ (www2)
OS	Red Hat Enterprise Linux 7.2
アプリ	apache 2.4.6 Perl 5.16.3 PHP 5.4.16

イ コンテンツは、ファイルをサーバに配置するのみで公開可能なものとする。サーバの設定変更（環境変数の設定等）及び新たなアプリケーションのインストールは行えない。なお、ファイルの配置は委託者にて実施する。

ウ インターネットからサーバへのファイルのアップロード/ダウンロードを行う仕組みは禁止とする。また、管理者のみがアクセス可能なページ（管理用ページ等）の作成も禁止とする。コンテンツファイルの配置には既存の仕組みを利用するため、アップロード等の仕組みの構築は不要（構築は禁止）である。

エ 特殊な拡張子のファイルは公開できないことがあるため、利用できるかどうかについて疑義がある場合は、設計の段階で確認すること。（MIME タイプの追加は行えない。）

オ インターネットからの通信は、HTTP のみとする。

カ HDD 使用量の制限は特にないが、1GB 以上の使用が想定される場合は、事前に委託者の承諾を得ること。

キ 画像を扱う場合は、インターネットでの公開に適したサイズ・画質となるよう、調整すること。また pdf ファイルについても、極力小さいサイズとすること。（最大でも 5MB とする。）

ク 同一コンテンツ内のファイル参照は、絶対パス参照ではなく相対パス参照とする。（サーバ再構築時のサーバ名変更に対応できるようにするため。）

- ケ データを蓄積する仕組みを構築する場合、asp サーバについては mdb、cgi/php サーバについては csv を設置する等の方法を用いること。データベース等のアプリケーションをインストールすることはできない。
- コ SSL 証明書が導入されていない等、重要性の高い情報を収集する環境が整備されていないため、個人情報等の収集は行わないこと。
- サ 外部から閲覧できない領域も用意可能である。
- シ ディレクトリのパーミッションは原則 775 とする。
- ス CGI、PHP については一部利用制限があるため、利用できるかどうかについて疑義がある場合は、設計の段階で確認すること。(cgi/php サーバ)
- セ PHP の文字エンコード設定は EUC-JP とすること。(cgi/php サーバ)
- ソ フォルダに個別の所有権は割り当てできない。(cgi/php サーバ)
- タ ブラウザ経由でファイルを更新する仕組みを用意する場合は、そのデータを格納するための専用のフォルダを設けること。ただし、コンテンツの更新を目的としたページ（管理ページ等）を設けることは禁止とする。
- チ メールを送受信する仕組みは構築できない。
- ツ SQL インジェクション対策などセキュリティ対策を実装すること。